

イー・アクセス株式会社 【9427】

2010年3月期 決算説明資料
(2009年4月 ~ 2010年3月)



2010年5月12日

I. 2010年3月期決算の総括	3 ページ
II. イー・モバイルとの経営統合及び2011年3月期の見通し	14 ページ
III. オペレーションの状況	29 ページ
IV. Appendix	38 ページ

I. 2010年3月期決算の総括

3 ページ

II. イー・モバイルとの経営統合及び2011年3月期の見通し

14 ページ

III. オペレーションの状況

29 ページ

IV. Appendix

38 ページ

イー・アクセス
2010年3月期 財務実績

営業利益は過去最高

当期純利益は3年ぶりに黒字化を達成

純フリーキャッシュフローは大幅改善
ROEは30%を達成

連結業績

- 営業利益は前年比**14.6%**増で過去最高
- 当期純利益は**3年ぶりに黒字化**を達成

(億円)	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	前年比 (%)
売上高	675.6	944.7	830.7	- 12.1%
営業利益	70.9	167.1	191.5	+ 14.6%
<i>EM 持分法損失</i>	-135.1	- 172.8	*1 - 60.3	na
経常利益 (損失)	- 83.7	- 25.9	108.3	na
当期純利益 (損失)	- 63.5	- 98.5	41.5	na
EBITDA	153.8	240.1	265.6	+ 10.6%
設備投資額	142.5	58.4	40.2	- 31.2%
減価償却費	82.8	73.0	74.0	+ 1.4%

注 1: イー・モバイルが年次在庫評価により、一時的な非現金性在庫評価損15.2億円を端末原価等に計上し、イー・モバイルのEBITDAの計算ではこの評価損は足し戻されています。連結のEM持分法損失には、イー・アクセス持分の5.9億円が計上されています。

注2: イー・アクセスは2008年9月1日よりアッカ・ネットワークスを連結対象とし、2009年6月25日付けで合併を完了しています。

連結キャッシュフローの状況

- EBITDAは前年比10.6%増、設備投資額は前年比31.2%減により営業及び純フリーキャッシュフローは前年比大幅増加

(単位:億円)	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	前年比 (%)
EBITDA	153.8	240.1	265.6	+ 10.6%
設備投資額	- 142.5	- 58.4	- 40.2	- 31.2%
営業フリーキャッシュフロー	11.3	181.7	225.4	+ 24.0%
利息(受取利息含む)	- 14.7	- 13.3	- 15.2	+ 14.3%
税金	- 30.5	- 44.5	- 35.8	- 19.6%
配当(受取配当含む)	- 31.3	- 35.7	- 35.8	+ 0.3%
純フリーキャッシュフロー	- 65.2	88.2	138.6	+ 57.1%

注1: イー・アクセスは2008年9月1日よりアッカ・ネットワークスを連結対象とし、2009年6月25日付けで合併を完了しています。

連結バランスシート of 状況

- 純フリーキャッシュフローの大幅増加により純有利子負債は改善
- 2010年3月末時点の純有利子負債/EBITDA比率は1.1倍に改善

(単位:億円)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末
現金及び現金同等物	476.2	685.4	261.1
有利子負債	845.1	1,038.9	550.5
純有利子負債	368.9	353.5	289.4
株主資本	205.4	99.6	126.1
少数株主資本	6.0	31.1	5.1
純資産	194.3	127.0	131.6
総資産	1,215.9	1,290.5	868.6
純有利子負債/純資産倍率	1.9x	2.8x	2.2x
純有利子負債/EBITDA倍率	2.4x	1.5x	1.1x

注1: イー・アクセスは2008年9月1日よりアッカ・ネットワークスを連結対象とし、2009年6月25日付けで合併を完了しています。

イー・モバイル
2010年3月期 財務実績

累計加入者は**235万**を突破

売上高は前年比**ほぼ**倍増

年間**EBITDA**黒字化を達成

イー・モバイル財務実績

- 売上高は前年比ほぼ倍増
- 年間EBITDAは黒字化を達成

(単位:億円)	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	前年比
売上高	145.0	614.5	1,136.0	+ 521.5
営業利益(損失)	- 382.1	- 368.8	* ¹ - 60.9	+ 307.9
経常利益(損失)	- 419.6	- 438.6	- 147.7	+ 290.9
当期純利益(損失)	- 420.2	- 440.3	- 148.8	+ 291.5
EBITDA	- 275.9	- 183.7	* ¹ 182.1	+ 366.8
EBITDA マージン	- 190.3%	- 29.9%	16.0%	na
設備投資額	982.1	397.0	533.9	+ 136.9
減価償却費	106.2	185.1	227.7	+ 42.6

注1: イー・モバイルが年次在庫評価により、一時的な非現金性在庫評価損15.2億円を端末原価等に計上し、イー・モバイルのEBITDAの計算ではこの評価損は足し戻されています。連結のEM持分法損失には、イー・アクセス持分の5.9億円が計上されています。

- 2010年3月期の設備投資額は前年度地下鉄エリア展開の遅れにより前年比増加
- 継続的な加入者増に伴い営業フリーキャッシュフローは大幅に改善

(単位:億円)	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	前年比
EBITDA	- 275.9	- 183.7	182.1	+ 365.8
設備投資額	- 982.1	- 397.0	- 533.9	- 136.9
営業フリーキャッシュフロー	- 1,258.0	- 580.7	- 351.8	+ 228.9
利息	- 10.5	- 57.7	- 74.6	- 16.9
税金	- 0.1	- 0.3	- 0.0	+ 0.3
純フリーキャッシュフロー	- 1,268.7	- 638.7	- 426.4	+ 212.3

注1: 営業フリーキャッシュフロー = EBITDA - 設備投資額。

注2: 年次在庫評価により在庫評価損15.2億円を認識し、これを端末原価等に計上いたしました。

この金額は実質的に非現金性特別損失であることから、EBITDAの計算にあたっては加算項目として扱っています。

- 純有利子負債の増加幅は計画通り
- 3/2010時点の現金及び現金同等物は**493**億円を維持

(単位:億円)	2008年3月末	2009年3月末	2010年3月末
現金及び現金同等物	937.4	674.2	493.1
有利子負債	1,067.9	2,121.9	2,441.3
純有利子負債	130.5	1,447.8	1,948.2
株主資本	863.9	423.6	274.8
純資産	863.9	423.6	274.8
総資産	2,503.0	2,801.2	3,086.4

I. 2010年3月期決算の総括

3 ページ

II. イー・モバイルとの経営統合及び2011年3月期の見通し

14 ページ

III. オペレーションの状況

29 ページ

IV. Appendix

38 ページ

イー・モバイルとの経営統合

- イー・モバイルとの株式交換により、**2010年7月1日**にイー・モバイルの発行済株式を完全取得し、イー・モバイルを完全子会社化

株式交換 比率

■ 1 : 1.45

(イー・モバイルの普通株式又は各種の優先株式1株あたり、イー・アクセスの普通株式1.45株を割当交付)

経営統合後の 発行済株式数 (予定)

- イー・モバイル第三者割当増資及び経営統合後、イー・アクセス発行済株式総数(試算)は約**350万**
- **2011年3月期** 期中平均株式数は約**305万**を想定

主要内容

- イー・モバイルは経営統合前に第三者割当増資を行なう予定
- イー・アクセス定時株主総会において本株式交換が承認されることを前提に、**2010年6月30日**現在の普通株主に対し**1株**当たり**1,800円**の特別配当を行う予定

スケジュール (予定)

- イー・アクセス第**11**回定時株主総会: **2010年6月24日**
- 経営統合効力発生日: **2010年7月1日**

注1: 買取請求が発生しないことを前提にしています。

イー・モバイル第三者割当増資(予定)

- 増資によりイー・モバイルの財務基盤を強化

主要な項目(予定)

総額	450億円 (うちイー・アクセス:170億円)
イー・モバイル 算定株価	110,000円
スケジュール	経営統合完了する前に 振込予定

イー・モバイル財務への影響

(単位:億円)	実績	試算
	2010年3月期	450億円 TPA
現金及び現金同等物	493.1	943.1
有利子負債	2,441.3	2,441.3
純有利子負債	1,948.2	1498.2
純資産	274.8	724.8
EBITDA (2011年3月期)	430.0	430.0
純有利子負債/純資産	7.1x	2.1x
純有利子負債/EBITDA	4.5x	3.5x

注1: 買取請求が発生しないことを前提にしています。

- 日本初の固定/モバイル総合ブロードバンド事業者を目指す



- ✓ 日本最大のADSLホールセール事業者
- ✓ 約229万加入者及び主なISP 30社以上へサービスを提供
- ✓ 安定したキャッシュフローを創出
- ✓ 約68,000 kmのバックボーンを確保



- ✓ 国内のモバイルブロードバンド市場をリード
- ✓ サービス開始3年間で235万加入者を突破
- ✓ 売上高は急速に増加
- ✓ 全国実質人口カバー率は90%超
主要地下鉄駅構内もほぼカバー

統合によるシナジー効果

- 事業及び財務的シナジー効果により
売上高拡大やコスト構造の改善を図る



- ✓ 加入者基盤の拡大
- ✓ 売上高成長

- ✓ コスト構造の改善
- ✓ 設備投資の更なる効率化

- ✓ 消費者ブランド
としての認知度
向上

イー・アクセスグループ加入者基盤



モバイル加入者:
約241万



ADSL 加入者:
約229万



AOL 加入者:
約13万

2011年3月期予想 (固定+モバイル)

売上高: 約1,900億円


EBITDA: 約600億円

加入者基盤: 500万以上

注1: 最新公開情報及び会社予想に基づきます。

注2: イー・モバイルとの経営統合は2010年7月1日に効力発生することが前提となります。

経営統合を前提とした
2011年3月期通期連結業績予想



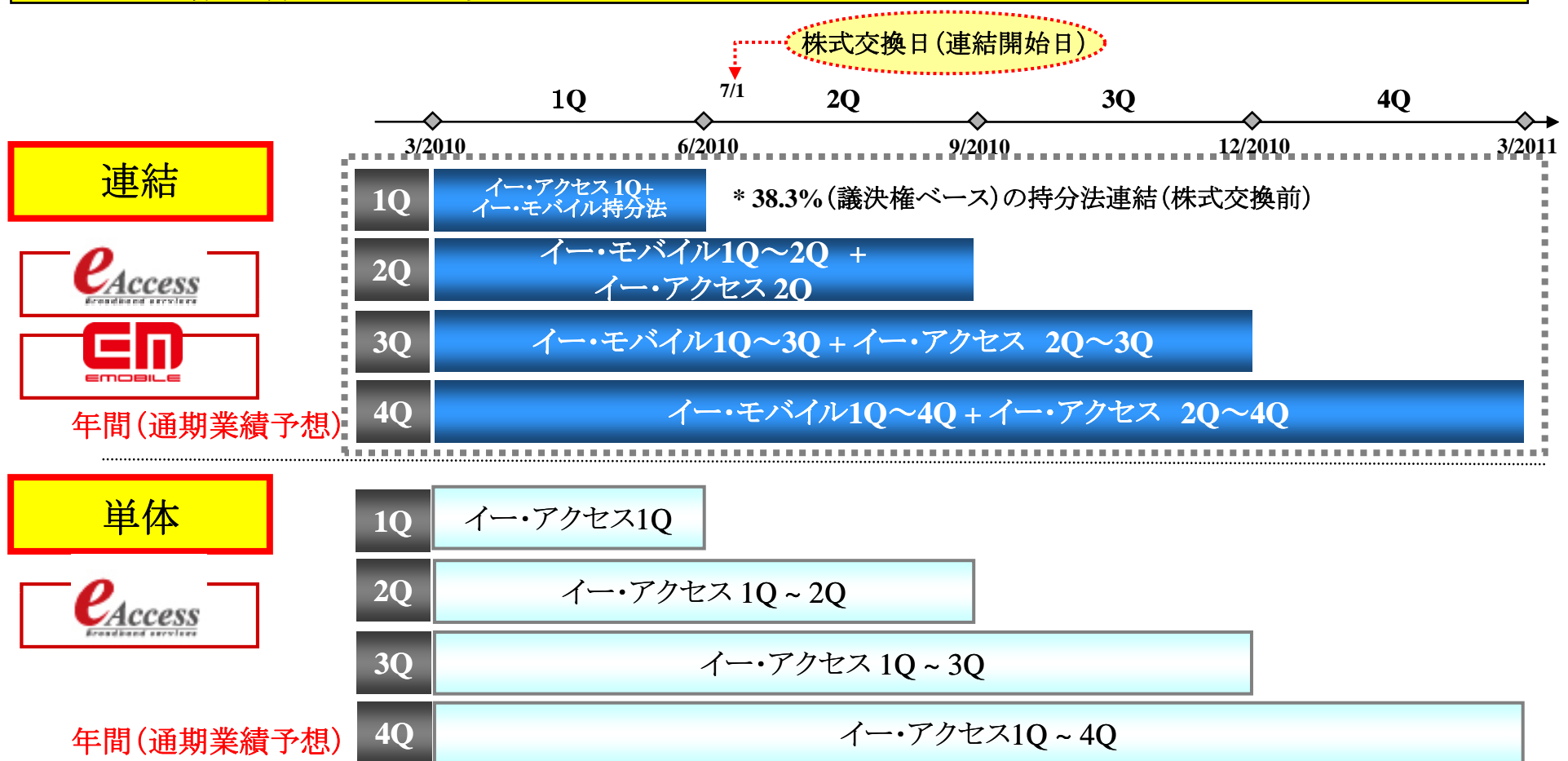
本経営統合はイー・モバイルを取得企業、イー・アクセスを被取得企業とする「逆取得」に該当

イー・モバイルの成長性を連結財務諸表に反映

売上高及びEBITDAの大幅増加を見込む

連結及び単体決算の開示イメージ

- 本株式交換は、完全子会社となるイー・モバイルを取得企業とする「逆取得」に該当することから(企業結合会計基準)、2011年3月期第2四半期以降の連結会計処理を変更



2011年3月期通期業績予想

- 「逆取得」に基づく連結会計処理により、2011年3月期通期業績予想はイー・アクセス9ヶ月(7/2010-3/2011)分及びイー・モバイルの12ヶ月分を含む

(単位:億円)	イー・アクセス 9ヶ月分	+	イー・モバイル 12ヶ月分	+	消去/全社	+	のれん 償却額	=	連結
売上高	550.0		1,500.0		- 150.0				1,900.0
営業利益	128.0		130.0		+ 2.0		- 10.0		250.0
経常利益	101.0		40.0		- 5.0		- 10.0		126.0
当期純利益	61.0		40.0		- 1.0		- 10.0		90.0
EBITDA	181.0		430.0		- 1.0				610.0
設備投資額	24.0		390.0		- 10.0				404.0
減価償却費	53.0		300.0		- 3.0		10.0		360.0

注 1: イー・モバイルとの経営統合が7/1/2010に効力発生することが前提となります。

注 2: のれんの償却期間は10年を予定しています。

注 3: 2012年3月期以降、日本会計基準の改定により、のれんの償却を行わなくなる可能性があります。

2011年3月期通期キャッシュフロー予想

- 「逆取得」に基づく連結会計処理により、2011年3月期キャッシュフロー予想はイー・アクセス9ヶ月(2010年7月~2011年3月)分 & イー・モバイル12ヶ月分を含む

(単位:億円)	イー・アクセス 9ヶ月分	+	イー・モバイル 12ヶ月分	+	消去/全社	=	連結
EBITDA	181.0		430.0		- 1.0		610.0
設備投資額	- 24.0		- 390.0		10.0		- 404.0
営業フリーキャッシュフロー	157.0		40.0		9.0		206.0
利息(受取利息含む)	- 13.0		- 72.0		- 5.0		- 90.0
税金	- 30.0		- 0.0				- 30.0
配当(受取配当含む)	- 43.0						- 43.0
純フリーキャッシュフロー	71.0		- 32.0		4.0		43.0

注 1: イー・モバイルとの経営統合は7/1/2010に効力発生することが前提となります。

注 2: 配当は最新の配当予想に基づきます。

統合後連結バランスシート(試算)

- 2010年7月1日よりバランスシートを連結
- のれん総額は100億円程度を想定

(単位:億円)	イー・アクセス 単体 2010年3月末	イー・モバイル 単体 2010年3月末	イー・モバイル 第三者 割当増資	イー・モバイル 株式(イー・ア クセス投資額) ^{*5}	のれん ^{*2 *3 *4}	=	連結(試算) 2010年3月末
現金及び現金同等物	254.6	493.1	450.0	- 170.0			1,027.7
有利子負債	550.5	2,441.3					2,991.9
純有利子負債	295.9	1,948.2	- 450.0	170.0			1,964.2
株主資本	568.5	274.8	450.0	- 670.2	100.0		723.2
純資産	568.9	274.8	450.0	- 670.2	100.0		723.6
総資産	1,305.8	3,086.4	450.0	- 670.2	100.0		4,272.1

注 1: イー・モバイルとの経営統合が2010年7月1日に効力が発生することが前提となります。

注 2: のれん総額は2010年6月30日のイー・アクセス株価終値によって決定するため、変更する可能性があります。

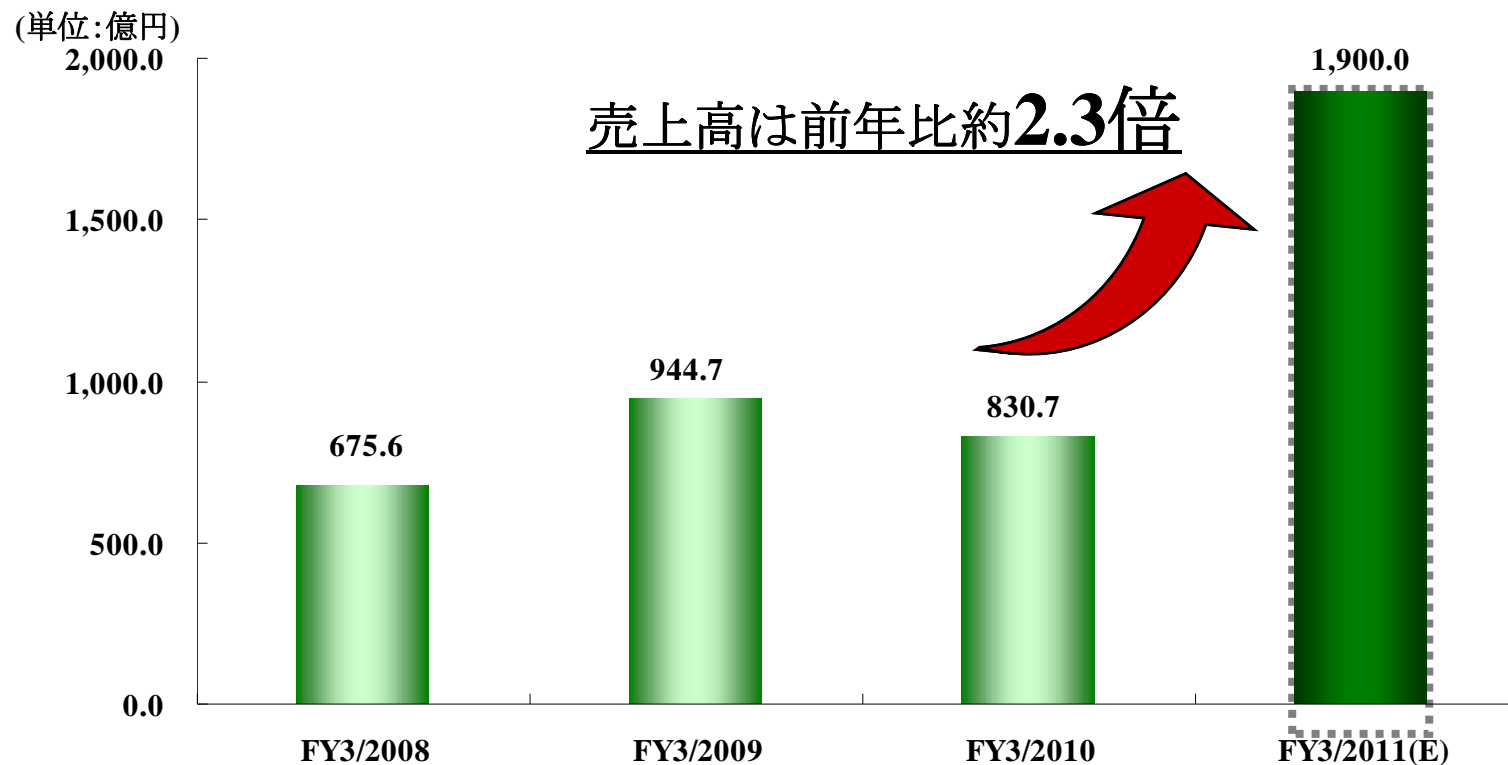
注 3: のれんの償却期間は10年間を予定しています。

注 4: 2012年3月期以降、日本会計基準の改定により、のれんの償却を行わなくなる可能性があります。

注 5: イー・モバイル株式会社には、2006年の投資額500億円及び2010年6月に投資予定の170億円イー・アクセス出資額を含みます。

連結売上高の推移

- 経営統合により
2011年3月期連結売上高は前年比約2.3倍の成長を見込む

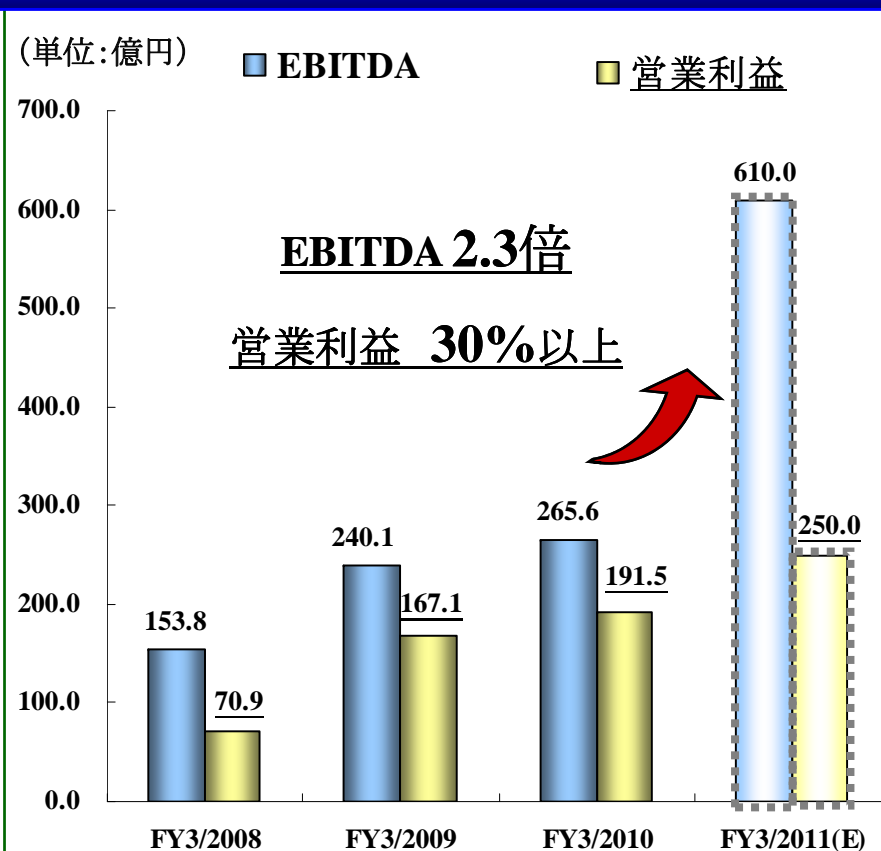


注1: イー・モバイルとの経営統合が2010年7月1日に効力発生することが前提となります。

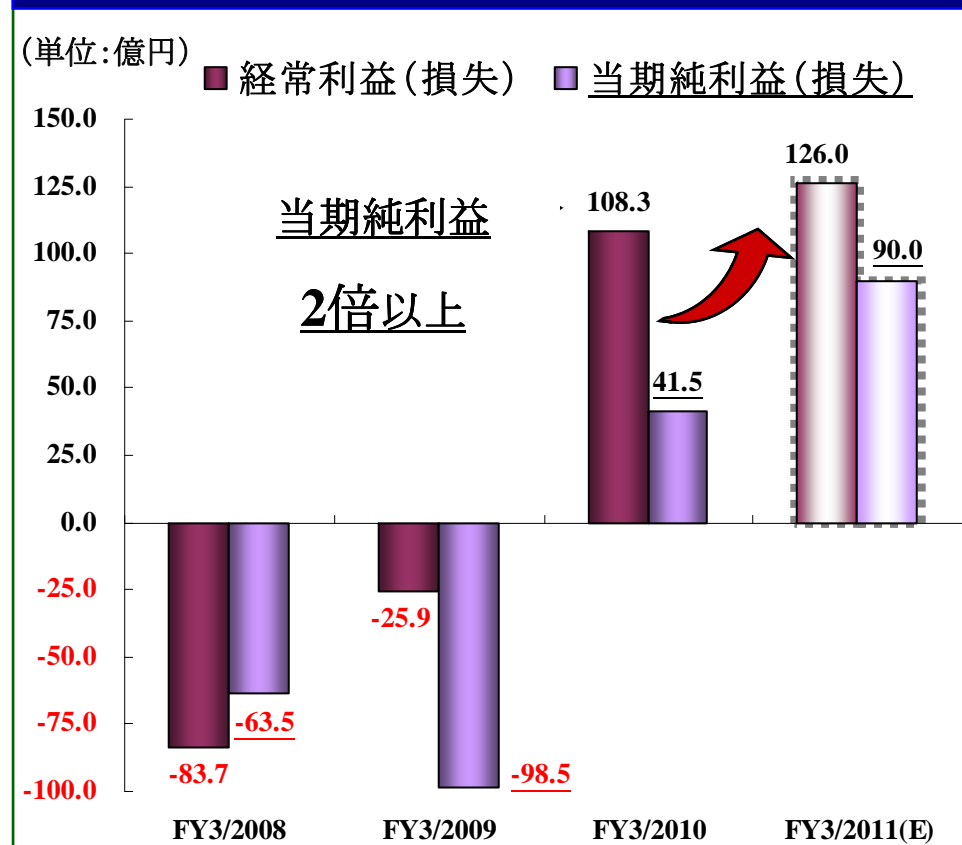
連結利益の推移

- 経営統合により2011年3月期EBITDAは前年比約2.3倍を予想
- 2011年3月期当期純利益は前年比2倍以上の成長を見込む

EBITDA及び営業利益



経常利益/当期純利益



注1: イー・モバイルとの経営統合が2010年7月1日に効力発生することが前提となります。

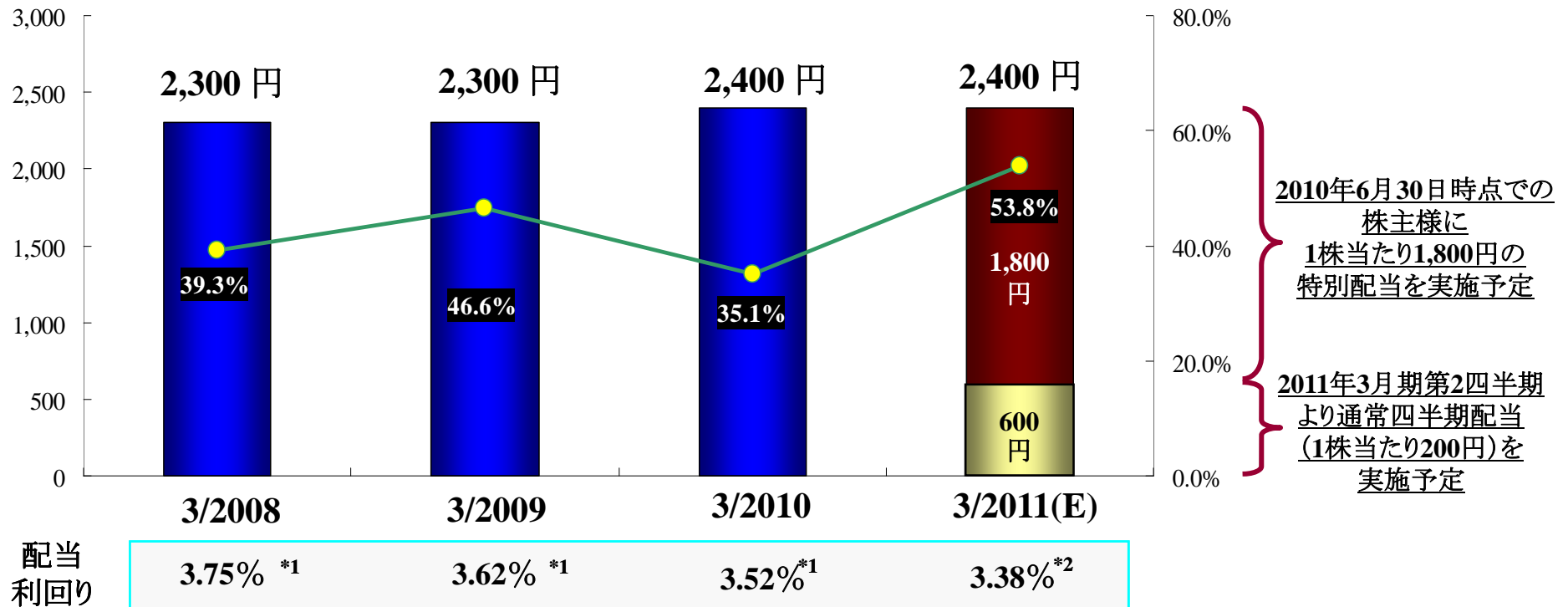
株主還元

配当政策

- 高成長に備え手元流動性を留保
- 負債を減らし財務基盤を増強し、企業価値の向上を図る

(一株当たり配当額、円)

(単体配当性向)



注1: 各年度末の株価をベースに算出。
 注2: 2010年5月11日株価71,100円をベースに計算。
 注3: 2010年5月12日発表の通期業績予想に基づく。

I. 2010年3月期決算の総括

3 ページ

II. イー・モバイルとの経営統合及び2011年3月期の見通し

14 ページ

III. オペレーションの状況

29 ページ

IV. Appendix

38 ページ

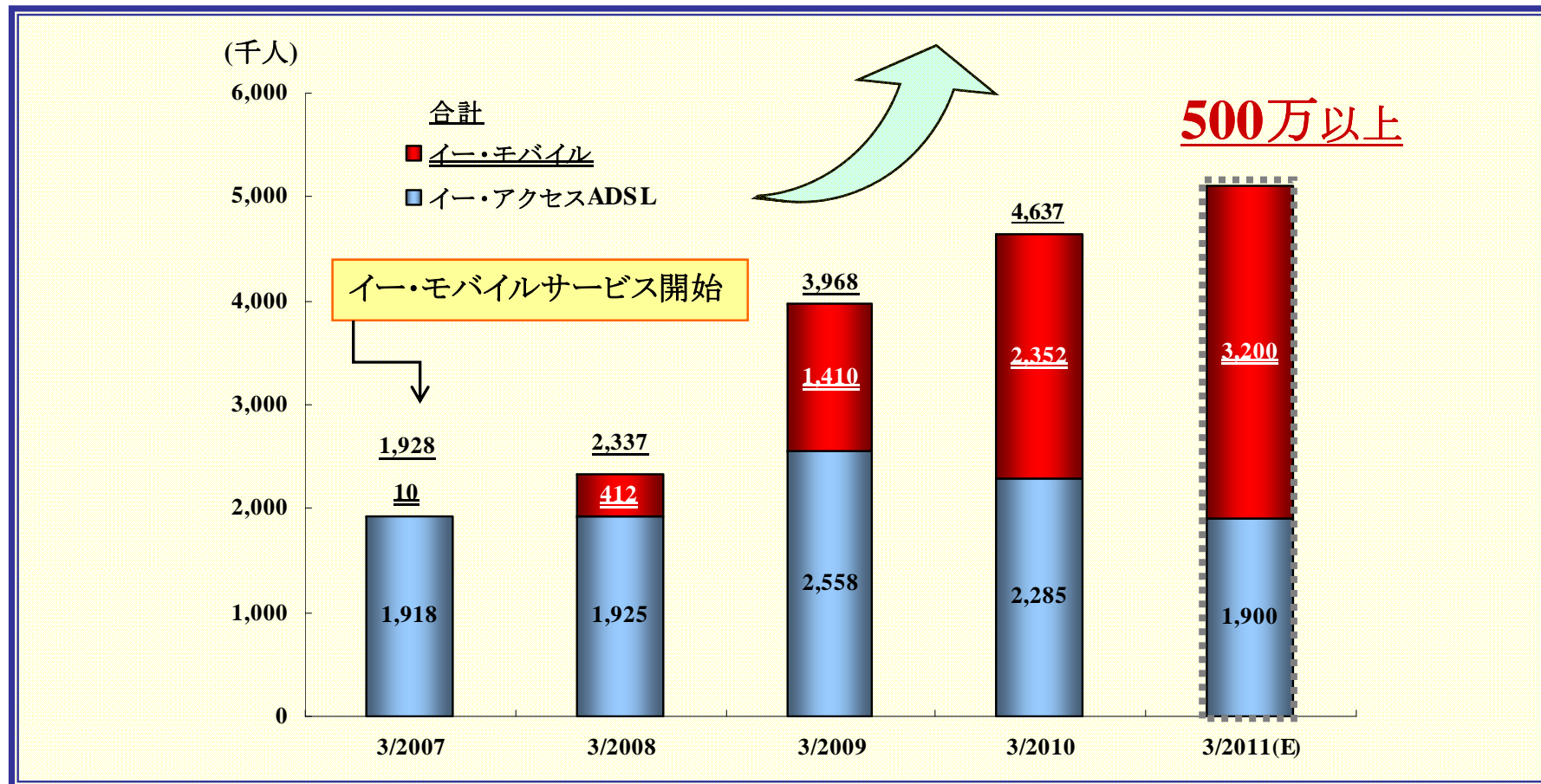
固定/モバイル合計加入者数500万を目指す

ARPU及び解約率水準を維持

FMC(固定/モバイルの融合)サービスの
潜在市場を開拓

加入者基盤 (ADSL 及び イー・モバイル合計)

- 着実に増加するイー・アクセスグループの加入者基盤
- 2011年3月までに**500万**加入者を目指す



(出所: TCA 及び会社予想)

主要なオペレーション指標

- ADSLのARPU及び解約率は現状とほぼ同じ水準を維持
- 付加価値サービスを導入し、イー・モバイルのARPU向上を図る

		実績			見通し
		2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
イー・アクセス ADSL	契約者数 *1	1,843,000	2,557,000	2,285,000	約 1,900,000
	ARPU (円)	2,058	2,011	2,015	約 1,950
	解約率	1.88%	1.97%	1.90%	約 1.89%
	1人当たり獲得費用 (円)	12,000	11,000	9,000	約 8,000
イー・モバイル	契約者数	411,500	1,410,200	2,351,800	約 3,200,000
	ARPU (円)	4,130	3,520	3,340	約 3,300
	解約率	1.00%	1.00%	1.05%	約 1.40%
	1人当たり獲得費用 (円)	--	30,000	25,000	25,000 - 30,000

注1 アッカ・ネットワークス社は2008年9月1日より連結対象。2008年9月1日からアッカのコンシューマー及び法人ADSLユーザーを含む。

イー・モバイル サービスエリアの進捗状況

- 地下鉄駅構内のエリア化はほぼ完了
- 2011年3月期はキャパシティの増強や高速化対応を重点的に行う予定

信越

	3/2010
屋外	82.4%

沖縄

	3/2010
屋外	91.7%

北陸

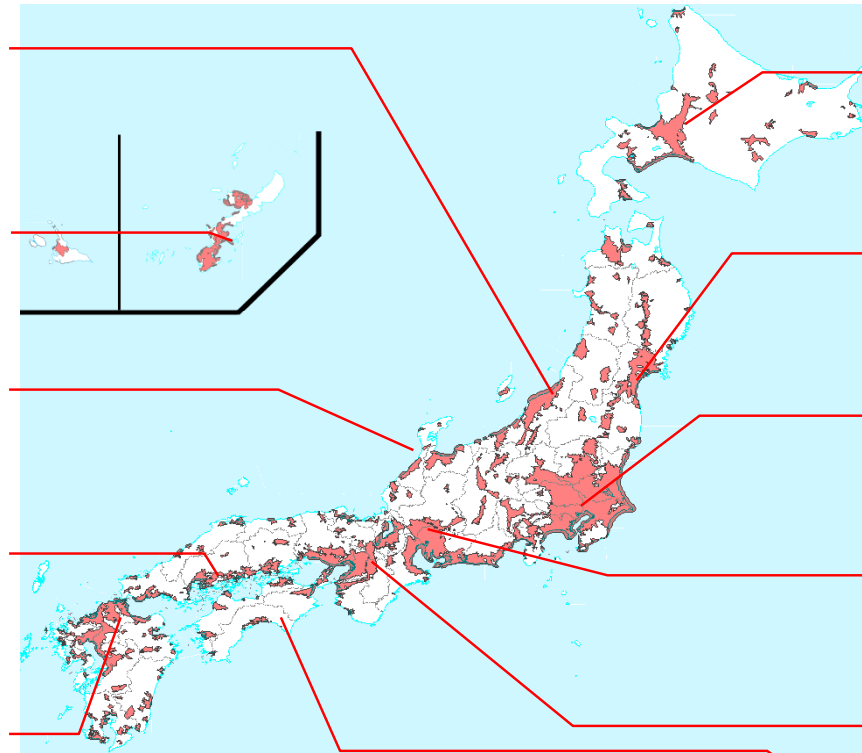
	3/2010
屋外	85.0%

中国

	3/2010
屋外	76.8%
地下鉄	100.0%

九州

	3/2010
屋外	86.2%
地下鉄	85.3%



全国

	2010年3月末
屋外	91.0%
地下鉄	97.1%

北海道

	3/2010
屋外	86.0%
地下鉄	95.7%

東北

	3/2010
屋外	78.8%
地下鉄	100.0%

関東

	3/2010
屋外	98.6%
地下鉄	97.3%

東海

	3/2010
屋外	94.0%
地下鉄	100.0%

近畿

	3/2010
屋外	95.4%
地下鉄	97.3%

四国

	3/2010
屋外	71.7%

モバイルブロードバンド市場の成長

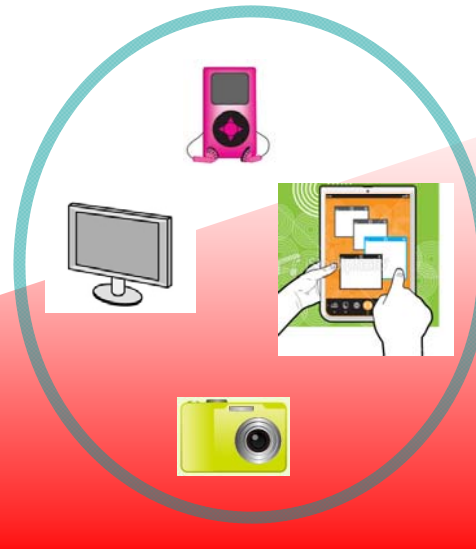
- モバイル端末やWiFi対応機器の普及に伴い、モバイルブロードバンド市場は更なる成長が見込まれる

ネットブック/
ノートPC

携帯型/個人向け
機器
(ゲーム機、デジタル音楽
プレーヤー等)

デジタル機器/
(タブレットPC、電子書籍、
デジタルフォトフレーム、
etc.)

M2M
(カーナビゲーション、
デジタルサイネージ、
etc.)



2008

2009

2010

2011

2012

2013 ~

Pocket Wifiで広がるビジネスチャンス

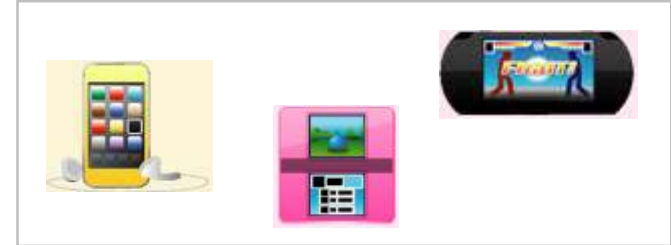
Notebook/Netbook/データカード



幅広い製品とバンドル



WiFi対応端末



30-40代のビジネスマン



幅広い顧客層



20-30代の女性、ゲームユーザ等



PC/モバイルコーナー



幅広い販売チャネル

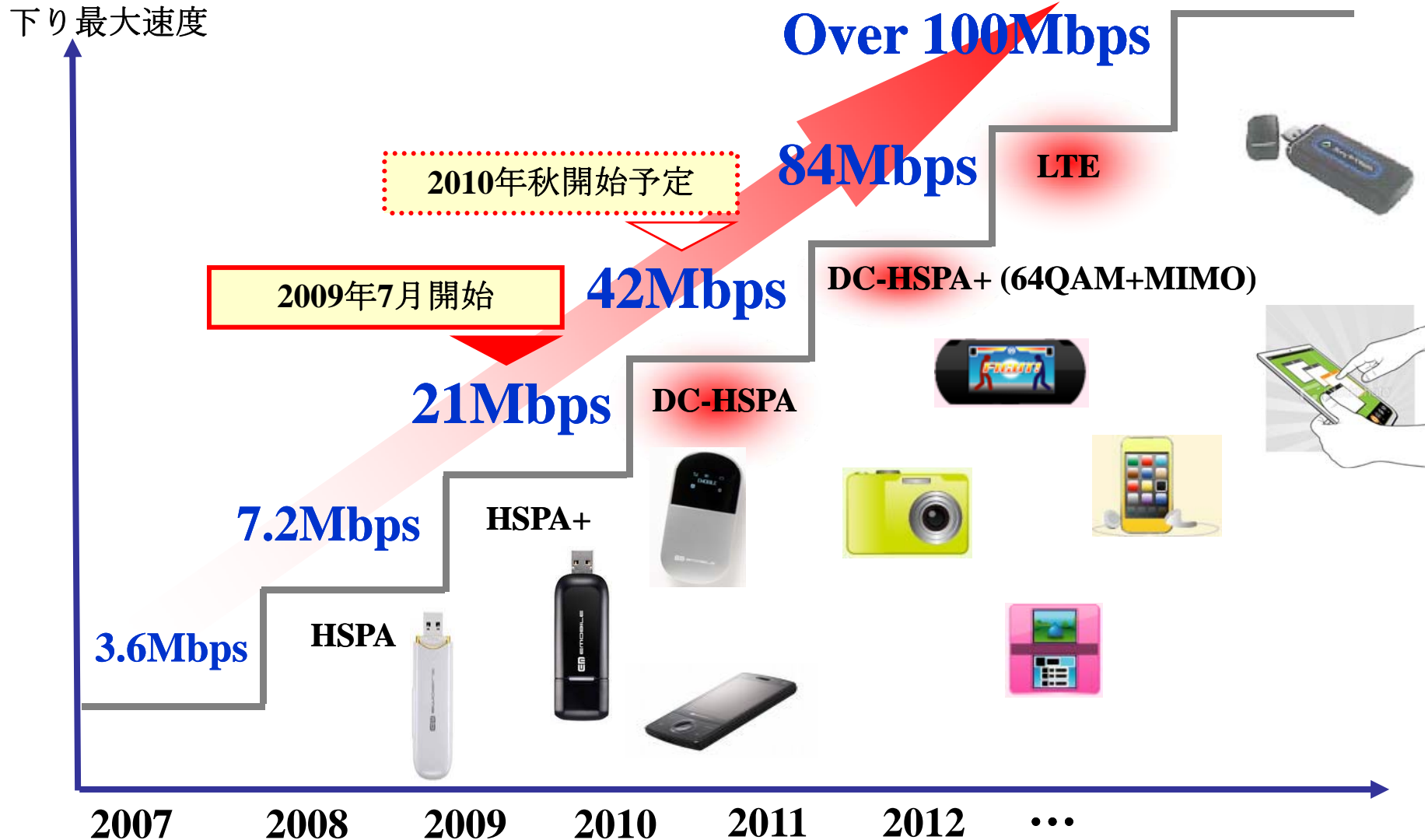


AV/ゲームコーナー

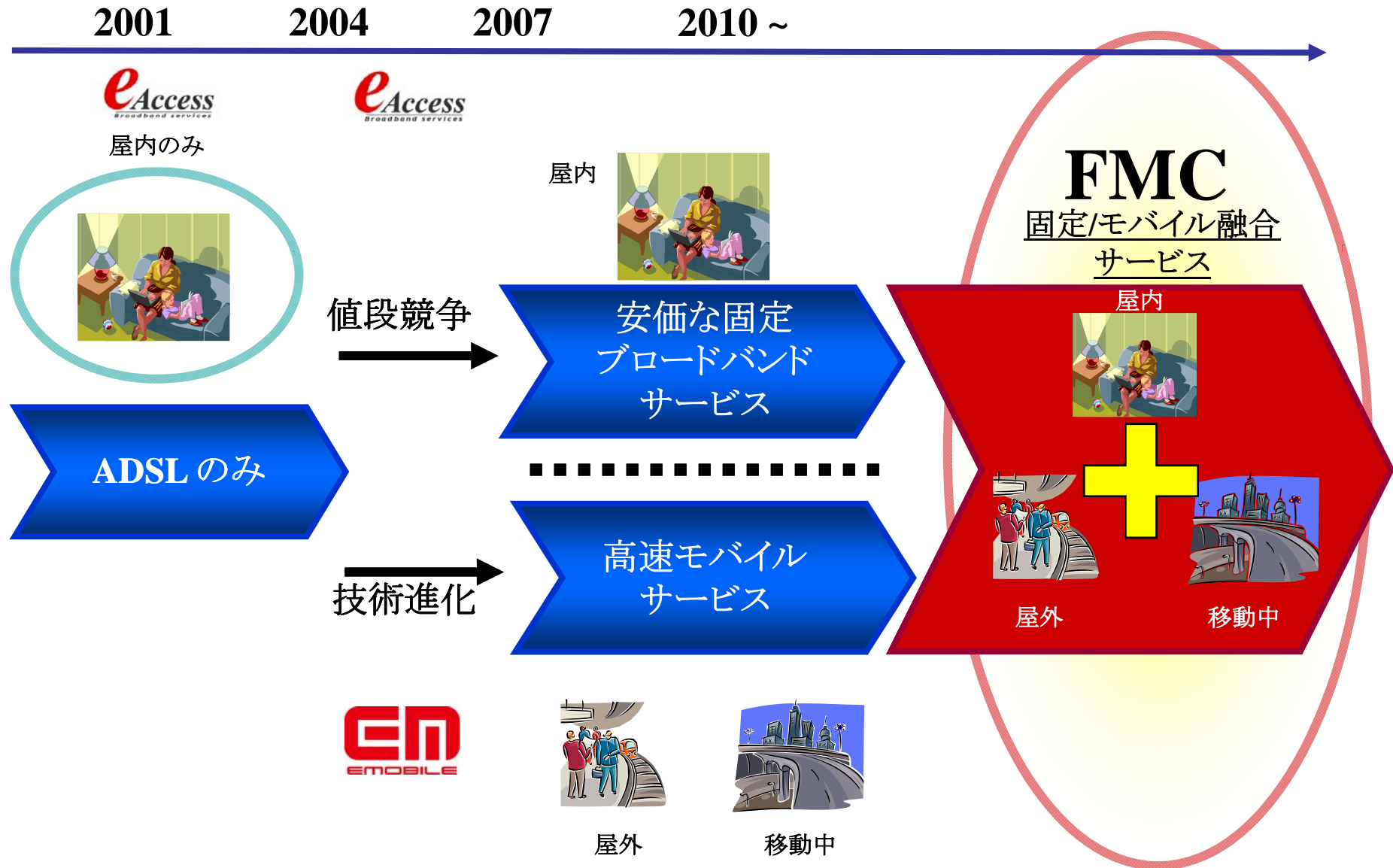


モバイル技術の高速化ロードマップ

- モバイルブロードバンドの高速化で競争優位を確保



固定/モバイル融合(FMC)戦略



I. 2010年3月期決算の総括

3 ページ

II. イー・モバイルとの経営統合及び2011年3月期の見通し

14 ページ

III. オペレーションの状況

29 ページ

IV. Appendix

38 ページ

2010年3月期通期実績のセグメント情報

2010年3月期 (4/2009-3/2010)				
(単位:億円)	ネットワーク 事業 *1	デバイス 事業	EM等持分法	連結
売上高	710.2	121.7		830.7
営業利益	183.2	8.3		191.5
経常利益	168.5		*3 - 60.3	*3 108.3
当期純利益	101.8		- 60.3	41.5
EBITDA	256.8	8.7		265.6
設備投資額	39.6	0.6		40.2
減価償却費	73.2	0.8		74.0

注1 ネットワーク事業: ADSL事業、リテール事業、MVNO事業、伝送事業。

注2 イー・アクセスは2008年9月1日よりアッカ・ネットワークスを連結対象とし、2009年6月25日付けで合併を完了しています。

注3 イー・モバイルが年次在庫評価により、一時的な非現金性在庫評価損15.2億円を端末原価等に計上し、イー・モバイルのEBITDAの計算ではこの評価損は足し戻されています。連結のEM持分法損失には、イー・アクセス持分の5.9億円が計上されています。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。